

## 校長室だより～和光高校今昔 修学旅行特別号 H26.6.20

埼玉県立和光高等学校 校長 村田 進

いよいよ修学旅行が目前に迫ってきた。6月22日（日）から2年生が沖縄に向かう。琉球文化、南部戦線における平和教育、マリン体験、伊江島での民泊など3泊4日の日程で各自が集団行動と沖縄について学んでいく。すでに十分に事前学習を済ませており、あとは当日の天候を祈るだけ。やはり青い空と青い海を見なければ喜びも半減してしまう。



さて、和光高校の修学旅行についてその歴史を遡ってみると以下のような表にまとめられる。20周年記念誌をもとに作成したが、本当にこの記念誌は素晴らしい。それ以降については卒業アルバムなどを基に作成したので多少誤りがあるかもしれないことをご理解願いたい。

### 和光高校修学旅行の歴史

	実施年度		方面・目的・主な行先	
1期生	1973	昭和48年	瀬戸内・京都	高松・小豆島・倉敷・京都
2期生	1974	昭和49年	瀬戸内・京都	高松・小豆島・倉敷・京都
3期生	1975	昭和50年	瀬戸内・京都	高松・小豆島・倉敷・京都
4期生	1976	昭和51年	瀬戸内・京都	高松・小豆島・倉敷・京都
5期生	1977	昭和52年	瀬戸内・京都	高松・小豆島・倉敷・京都
6期生	1978	昭和53年	関西	京都・大阪
7期生	1979	昭和54年	中国・北陸・京都	広島・北陸・京都

8期生	1980	昭和55年	中国・京都	萩・秋芳洞・山口・広島・京都
9期生	1981	昭和56年	瀬戸内・京都	広島・倉敷・高松・小豆島・京都
10期生	1982	昭和57年	中国・関西	広島・秋芳洞・萩・松江・姫路
11期生	1983	昭和58年	瀬戸内・京都	広島・倉敷・小豆島・京都
12期生	1984	昭和59年	瀬戸内・京都	広島・倉敷・高松・小豆島・京都
13期生	1985	昭和60年	スキー	岩手八幡平
14期生	1986	昭和61年	東北	松島・田沢・わらび座・十和田
15期生	1987	昭和62年	北陸・京都	永平寺・能登・輪島・京都
16期生	1988	昭和63年	スキー	山形県蔵王
17期生	1989	平成元年	スキー	秋田県田沢湖
18期生	1990	平成2年	スキー	山形県蔵王
19期生	1991	平成3年	スキー	岩手八幡平
20期生	1992	平成4年	スキー	山形県蔵王
21期生	1993	平成5年	スキー	山形県蔵王
22期生	1994	平成6年	スキー	岩手八幡平
23期生	1995	平成7年	北海道	函館・札幌・白老
24期生	1996	平成8年	北海道・青森	小樽・日高・洞爺湖・函館・青森
25期生	1997	平成9年	北海道	白老・札幌・洞爺湖・昭和新山
26期生	1998	平成10年	北海道	札幌・白老・洞爺湖・函館
27期生	1999	平成11年	沖縄	那覇など
28期生	2000	平成12年	沖縄	那覇など
29期生	2001	平成13年	北海道	札幌・小樽・登別
30期生	2002	平成14年	沖縄	那覇など
31期生	2003	平成15年	沖縄	那覇など
32期生	2004	平成16年	沖縄	那覇など
33期生	2005	平成17年	沖縄	那覇など
34期生	2006	平成18年	関西・瀬戸内	神戸・琴平・白石島(岡山)
35期生	2007	平成19年	沖縄	那覇など
36期生	2008	平成20年	沖縄	那覇など
37期生	2009	平成21年	九州	種子島・屋久島・知覧(鹿児島)
38期生	2010	平成22年	沖縄	那覇など
39期生	2011	平成23年	北海道	札幌・富良野・旭山動物園
40期生	2012	平成24年	九州	長崎・松浦半島・博多
41期生	2013	平成25年	沖縄	那覇・伊江島・名護
42期生	2014	平成26年	沖縄	那覇・伊江島



40年以上の歴史はその過程の中でいくつかの制約の改定を経ている。距離制限から本州に限定された時代に始まり、北海道や九州が可能になった

た時代、航空機の使用が許可された時代など、実は和光高校は常に変化を先取りして実施しており、スキーやわらび座など流行にも敏感なことが読み取れる。

広島を入れるか入れないかなどの議論もあり初期のころは行先と内容は学年任せ、私にとっては「湯旅」の小川さんとの楽しい思い出が印象に残っている。系統的な連続性は昭和から平成の変わり目の時期に実施された、「スキー」まで待たなければならない。スキーブームが去った以降は、北海道か沖縄の選択が大きな主流となり、他校には例のない意欲的な取り組み（平成18・21・24年）も目につく。ともあれ共通する目的地としては、内陸県埼玉ということもあり、「海」がキーワードになるようだ。



さて、沖縄修学旅行

は多くの高校では2学期に実施するが、和光高校が6月に行くのは、部活動の大会や学校行事などの関係からだ。したがって梅雨明けとの競争になるが、これは1年以上前から日程を決めるので運任せというほかない。



ところで2学年の修学旅行担当の教員は本当に忙しい。特に旅行中は、まさに寝る間もないという過密日程をハラハラしながら過ごすことになる。準備や事前学習、事後のまとめなども含めれば膨大な仕事となる。それをわかってのことか、旅行中は不思議といつも以上に生徒がきちんと行動してくれる。開校以来、修学旅行で大きな問題は全く起

きていない。そして時代が変化しても変わらずに言われ続ける言葉、「家に着くまでが旅行」なのだ。